

自然光を活かした 「新百合丘駅」

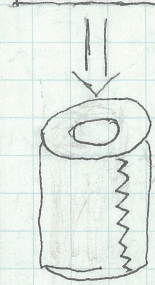
駅をリニューアルする際天井や壁に光を拡散する素材を使用し、自然光を取り入れやすくすることで昼間の照明に使用する電力量の削減に。



明るくはないが、自然光が心地よい。



新宿→相模



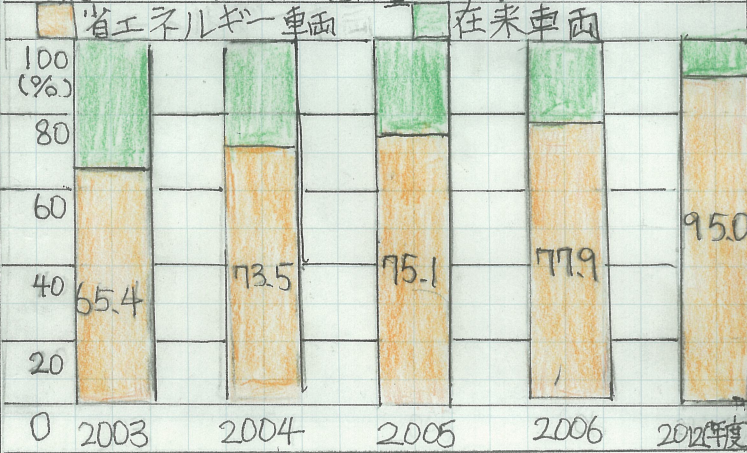
(カマ・山下)

Q 駅では何かリサイクルしているものはありますか?
A ペットボトルから駅員さんの着ている制服になって、切符からPETボトルになっていきます。

エコインフラ

運転電力量の削減

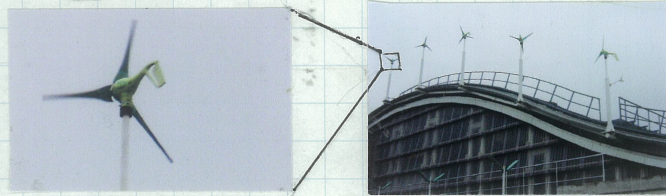
省エネルギー車両の導入をはじめ、さまざまな施策を通じ、運転電力量の削減に努めている。



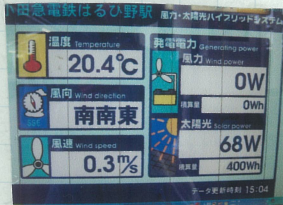
自然エネルギーを

活用するはるひ野駅

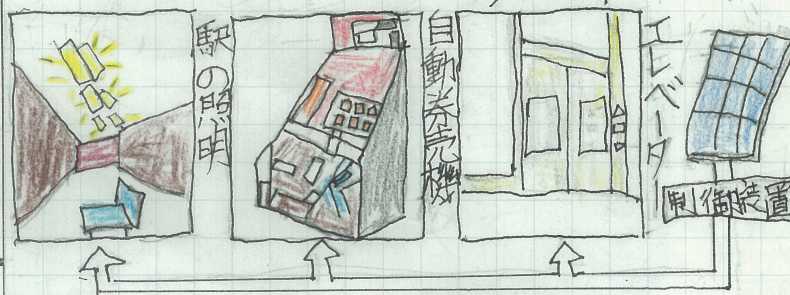
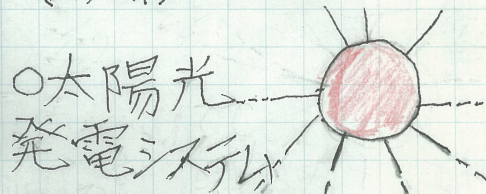
はるひ野駅は「風力太陽光発電システム」を導入し、駅構内の照明やエレベーターなどに使用する電力の一部を発電して使います。



(駅の屋根には、8つの風力発電機を設置) (カマ・山下)



(今の発電量が表示されている)

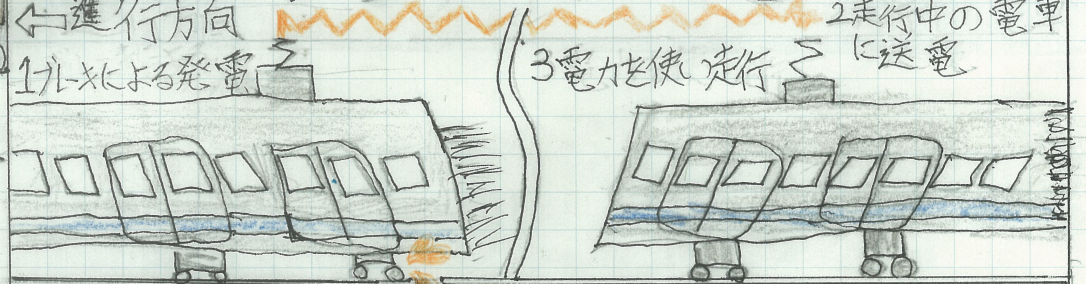


自然エネルギーによる2007年度の年間総発電量は、約8万2460kWhでCO₂に換算すると、約28tの削減に相当する。温暖化に大きく役立っていることがわかる。

小田急エコ新聞

発行日 9月27日
記者名 山下夏生

回生ブレーキのしくみ



最新通勤車両4000形 (カマ・山下)

ブレーキ時にモーターを発電機として利用し電力を発電します。発電した電力はパンタグラフを通じて架線に流しほかの車両に供給します。

取材編集を終えて
私はこの取材編集を通じて、私の住んでいる麻生区には「はるひ野駅」や「新百合丘駅」があることを知れて良かったです。また自然エネルギーを活用する環境にやさしい駅が、いばきまるといふなと思えました。